

Chugoku Newspaper, 18 September, 2015

# アフガン選手「和」体験

## サッカー女子 安佐北区で交流

アフガニスタンのサッカー女子代表チームが17日、広島市安佐北区可部東の広島文教女子大付属高で、浴衣を着るなどして生徒と交流した。

17、28歳の選手15人と監督やコーチら4人。1、2年生の有志計17人と昼食後、色とりどりの浴衣を着付けてもらい、一緒に記念撮影した。和太鼓部や弓道部の練習も見学した。

同チームは、国連訓練調査研究所(ユニタール)広島事務所の招きで15日に来日した。副キャプテンのハジャル・アブルファザルさん(21)は「浴衣を着てみたかった。日本文化を体験できて楽しい」。2年平田優月さん(16)は「自然と仲良くなれた」と喜んだ。

(中川雅晴)



生徒に浴衣を着付けてもらうアフガニスタンの選手

18 September 2015, Chugoku Newspaper

On 17 September the women football team from Afghanistan, invited by UNITAR Hiroshima, visited a high school in Hiroshima Asakitaku. The high school students helped their guests to wear yukata and took pictures together. The team members enjoyed the experience of the Japanese culture.